

防災・安全ニュース

VOL. 11

危機管理課

2024年3月号

電話65-1282

天気予報で桜前線の話が出るようになってきましたが、まだまだ朝晩は気温が低いですので体調管理にはお気を付けください。

では、今月号もよろしくお付き合いください。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・いのちの日
- ・災害関係車両の展示
- ・交通事故が多発する3月
- ・啓蟄（けいちつ）とお水取り

いのちの日

3月11日は、「災害時医療を考える会」が制定し、日本記念日協会が認定した「いのちの日」でした。2011年（平成23年）3月11日に発生した東日本大震災では、多くの命が失われました。このことから、災害時のみならず、平時においても「いのち」の大切さを再認識する機会にしたいと考えて制定したそうです。

今年の年初に発生した令和6年能登半島地震においても、多くの命が失われ、今も被災された大勢の方々が避難生活を継続されています。このことに思いを馳せつつ、自らの身に置き換えて災害への「自助」の備えをよろしくお願いいたします。



災害関係車両の展示

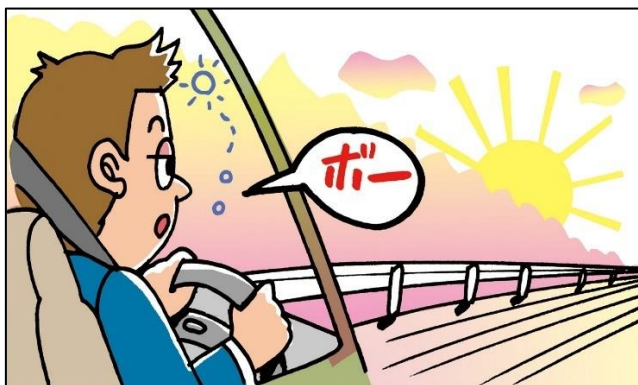
危機管理課では、各関係団体の協力をいただいて3月16日（土）に市民のみなさまの防災意識向上のための親子防災スタート Day 2024 春（イベント）を開催します。災害体験を含むイベントの全プログラムへの参加応募は、すでに締め切っておりますが、市役所北側駐車場における災害関係車両の展示については予約がなくても自由に見学できますので、みなさまのご来場をお待ちしております（展示時間 09:20～15:20）。なお、雨天の場合は、車両展示は中止とさせていただきます。



交通事故が多発する3月

3月は、比較的に交通事故の多い月とされています。これは、3月は年度末なので人々が多忙感を抱えて集中力が低下すること、もう一つは花粉症の季節なので、薬の副作用などで運転操作に遅れが出ることなどが理由として挙げられています。

年度末で多忙であっても車を運転する際は、運転にしっかり集中することを意識することや、花粉症薬の副作用をしっかり確認することが大切です。多忙感や薬の副作用で漫然（居眠り）運転による



交通事故を起こすと、安全運転注意義務違反となって罰金や懲役を受ける可能性がありますので、注意いただきたいと思います。

・啓蟄（けいちつ）とお水取り

「啓蟄」は、二十四節季の1つで「冬ごもりをしていた虫たちが土の中から出てくる頃」という意味です。今年は3月5日から3月19日で、この時期には「お水取り」と呼ばれて親しまれている東大寺二月堂の修二会（しゅにえ）が行われます。これは、奈良時代から続く行事で、大きな松明から落ちる火の粉を浴びると無病息災で過ごせるといわれています。私は、一度だけ見に行ったことがありますが、深夜に行われる行事にもかかわらず多くの人々がその儀式を見ようと訪れていました。



お水取りの様子

【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

3月に入って自宅の庭のしだれ梅が徐々に咲き始め、今は5分咲きぐらいとなっています。また、桜のつぼみもようやくふくらみ始めました。春は花がたくさん咲いて美しい季節ですが、雑草もぐんぐん伸びる時期でもあり、勢いよく生え始めた雑草に、ため息をついている今日この頃です。

(N.O)